



日本友和会 (JFOR)

Japan Fellowship of Reconciliation

[URL:http://jfor.a.la9.jp/](http://jfor.a.la9.jp/)

各位

グテーレス国連事務総長への公開書簡送付の件

ご承知の通り、新型コロナウイルス感染の世界的拡大に伴い、国連のグテーレス事務総長は、それに対応する国際社会の責任として直ちに世界的停戦を呼びかけております。

これに対して、私ども日本友和会（上記）の母体である国際友和会（International Fellowship of Reconciliation）は直ちに賛同し、さらに一步踏み込んで、停戦だけにとどまらず世界規模の大幅な軍縮、軍事費の削減により、そのリソースを新型コロナウイルス感染対策、貧困者対策、平和構築対策、人権抑圧対策等にシフトすることをアピールする公開書簡を、グテーレス事務総長宛に送付することとしました。この書簡作成には、日本友和会も参画し、このアピールを共有しております。

つきましては、この書簡の主旨を貴方にも是非共有していただきたく、下記に添付いたします。よろしくお願ひ致します。

2020年5月27日

日本友和会 理事長 水戸 潔
事務局：東京都清瀬市元町 1-18-11

国連事務総長グテーレス様、
写し： 国連関係者の皆様

私たちは、正義、和解、および永続的平和から遠ざかり、際限なく繰り返される暴力の世界を、非暴力を通して変えようとする国際的な団体である国際友和会 (IFOR) の総意としてこの手紙をさしあげます。国連 ECOSOC (国際連合経済社会理事会) の認定を受け参画している国際 NGO として、今日の世界の健康危機に取り組んでおられる皆様のご努力に感謝し、この困難な時期に私たちの考えの一部を皆様と共有すべく書いております。私たちは「COVID-19 の猛威は戦争の愚かさを示している」と考え、「戦争の病を終わらせる」ための最初の一步として世界的停戦を呼びかけたあなたのリーダーシップに感謝します。あなたの呼びかけは世界中の何百万人もの人々が共感し、70 加盟国から支持され、紛争当事者や非政府関係者からも受け入れられています。私たちはすべての国連加盟国に対し、あなたの訴えを国連総会および安全保障理事会が支持し、実施するよう求めます。

世界的流行病の COVID-19 は、国境を越えて人類に共通する弱さを明らかにしました。地球上の生物の 1 種にすぎない私たちは、自国の優位性を求める欲望や、より壊滅的被害をもたらす COVID-19 を克服しなければなりません。他国から分離さえすれば良くなるという苦し紛れの幻想によって、人類は健康と平和を脅かす戦争や暴力に耐えることはできません。各国は国内でウイルスを封じ込める取り組みを悪化させる政治、経済、人種、社会格差の対策に取り組んでいますが、国際社会の不平等さは、すでに気候変動、飢餓、経済制裁と搾取、武力紛争などによって苦難の矢面に立たされている南半球、中東、アジア諸国の人々に対し、新たに深刻な苦しみをもたらしています。

COVID-19 が地球の国々に与える影響はさまざまですが、私たちは健康、経済的公正、平和を通して人類の安全保障を構築する国際的に新しい創造的取り組みが非常に緊急であることを確認し、以下を訴えます。

1. 貧しくて疎外された人々の保護を優先する事：

経済的不平等は流行病の影響を増大させ、さらに死の危険を伴うより甚大な被害へ発展します。たとえば医療への資金投入不足は、医療従事者が必要としている防護具を提供することさえ不可能にします。さらに貧しくなった人々は、社会から切り離され、孤立した空間に閉じ込められ、女性と子供たちは夫あるいは父親から新たな暴力や虐待を受け、死亡することさえあります。

2 市民の自由と人権を保護する事：

多くの国が急いだ COVID-19 関連の緊急法案は、強権的な対応措置と人権侵害に対する保護に役立つでしょう。従来、疎外されてきた地域社会は、忘れられるか無視され、立場の弱い人々は公的支援から切り離されます。国連事務総長に、国連人権高等弁務官のミシェル・バチエレット

氏の活動を優先し、支援するよう要請します。彼の働きにより、COVID-19によって再形成された社会での虐待を確実に監視できるよう、人権擁護のため新しく制定された法律が遵守される事を求めます。すべての加盟国に説明責任を果たすよう求めてください。

3. この世界的危機の勢いを活用し、人々の必要を満たし、永続的な平和を生み出すために資源用途の転換をはかる事:

戦争に使用する武器は、ウイルスを倒したり、気候変動に対処したり、その他、世界の問題を解決することはできません。国家がウイルスを封じ込め安全を確保するために、「通常行う活動として」軍事的手段を採用すれば、今回のように最も深刻な経済的影響から社会に一番、弱い人々を保護し、国際的健康の緊急事態に対処する創造的活動を、連帯して取り組む機会を逃してしまうでしょう。連帯して行うこれらの活動は、永続的な平和をもたらす創造的行為です。私たちは、すべての核兵器廃絶をはじめ、世界規模での軍縮と軍事費の大幅な削減を求めます。軍事産業の民間産業への転換と、武器輸出停止を求めます。人類は、公正な地域社会への投資と、戦争への資金提供を医療と平和への資金提供への転換をすることによって繁栄します。私たちは国連に対し、非暴力による紛争の解決、調停、非武装の民間平和維持活動に、より多くの人材と財政的支援を投資するよう要請します。

今こそ、平和と非暴力の文化の上に築かれる「新しい常識」を生み出す時です。私たちは、国際的な人々のきずなを育て、協力し、さらに世界的な連帯を促がす国際的リーダーシップを求めています。2030年の持続可能な開発目標は、私たちの世界が相互に関連する現実を認めることです。IFORは40か国以上に支部、グループ、加盟組織を擁し、これらの目標を達成するために国連諸機関に支援を提供しています。SDGs(持続可能な開発目標)は、貧困と不平等のない世界に平和を中心にする新しい考え方の実践を呼びかけます。上記に掲げた目標への取り組みにより、各国はCOVID-19後の世界に、誰も取り残されない新たな道筋を作ることができるでしょう。

2020年5月20日

国際友和会 (International Fellowship of
Reconciliation)

<http://www.ifor.org/>